

フ ラ ン ス 音 楽 の タ べ
プ ル ー ス ト と 音 楽

盛田 麻央 (ソプラノ) 高柳 圭 (テノール)

青柳 いづみこ (ピアノ) 沼沢 淑音 (ピアノ)

ジェラルド・プーレ (ヴァイオリン) 川島 余里 (ピアノ)

2022 年 3 月 21 日 (月・祝) 14 時 日 仏 会 館 ホ ー ル

主 催 公益財団法人日仏会館 助 成 公益財団法人石橋財団

S o i r é e d e m u s i q u e f r a n ç a i s e
P r o u s t e t l a m u s i q u e

Mao MORITA (soprano) Kei TAKAYANAGI (ténor)

Izumiko AOYAGI (piano) Yoshito NUMASAWA (piano)

Gérard POULET (violon) Yori KAWASHIMA (piano)

Le lundi 21 mars 2022 à 14h Auditorium de la Maison franco-japonaise

Organisation Fondation Maison franco-japonaise Soutien Fondation Ishibashi

レーナルド・アーン

「リラの木のナイチンゲール」(ドーファン) (M, A)

「わが詩句に翼ありせば」(ユゴー) (T, A)

「恍惚の時」(ヴェルレーヌ) (M, A)

ガブリエル・フォーレ

「秋の歌」(ボードレール) (T, A)

「消え去らぬ香り」(ルコント・ド・リール) (M, A)

「秘密」(シルヴェストル) (M, A)

エドゥアルド・デイ・カプア

「オー・ソレ・ミオ」(カブッロ) (T, A)

クロード・ドビュッシー

『ペレアスとメリザンド』3幕3場から「地上の場」(T, A)

ジュール・マスネ

『マノン』5幕5場からマノンとデ・グリュウの二重唱(抜粋) (M, T, A)

— 休憩 —

レーナルド・アーン

「画家の肖像」(プルースト) (A)

エマニュエル・ジャブリエ

「牧歌」(「絵画的小曲集」より) (N)

リヒャルト・ワーグナー / フランツ・リスト

「イゾルデの愛の死」(N)

ガブリエル・フォーレ

「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 イ長調」第4楽章 (P, K)

カミーユ・サン＝サーンス

「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 二短調」第1楽章 (P, K)

セザール・フランク

「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調」第4楽章 (P, K)

Gabriel Fauré

- « Chant d'automne » (Baudelaire) (T, A)
- « Le parfum impérissable » (Leconte de Lisle) (M, A)
- « Le secret » (Silvestre) (M, A)

Reynaldo Hahn

- « Le rossignol des lilas » (Dauphin) (M, A)
- « Si mes vers avaient des ailes ! » (Hugo) (T, A)
- « L'heure exquise » (Verlaine) (M, A)

Eduardo Di Capua

- « O sole mio » (Capurro) (T, A)

Claude Debussy

Pelléas et Mélisande, Acte III, scène 3 (extrait) (T, A)

Jules Massenet

Manon, Acte V, scène 5, duo de Manon et des Des Grieux (extrait) (M, T, A)

— entracte —

Reynaldo Hahn

- « Portraits de peintres » (Proust) (A)

Emmanuel Chabrier

« Idylle » (extrait de *Dix Pièces Pittoresques*) (N)

Richard Wagner / Franz Liszt

- « Isoldens Liebestod » (N)

Gabriel Fauré

Sonate pour violon et piano, n° 1, quatrième mouvement (P, K)

Camille Saint-Saëns

Sonate pour violon et piano n° 1 en ré mineur, premier mouvement (P, K)

César Franck

Sonate pour violon et piano en la majeur, quatrième mouvement (P, K)

盛田 麻央

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所第 52 期マスタークラス修了。修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院修士課程を満場一致の最優秀の成績で卒業。第 17 回日仏声楽コンクール第 1 位及び竹村賞、第 13 回東京音楽コンクール第 2 位など数々のコンクールで入賞。オペラでは、二期会『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、二期会『フィガロの結婚』バルバリーナ役で出演し好評を博し、他にも『椿姫』タイトルロール等に出演。コンサートでは、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」等のソプラノソロとしても実績を積み、幅広く活動している。二期会会員

高柳 圭

国立音楽大学声楽学科卒業、同大学院修了。第 77 回読売新人演奏会出演。二期会オペラ研修所第 54 期マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト「蝶々夫人」ピンカートン役カヴァーキャスト、「フィガロの結婚」バジリオ役メインキャストで出演。千住明作曲新作オペラ「滝の白糸」村越欣弥役を創唱。錦織健プロデュースオペラ「後宮からの逃走」ペドリッポ役で出演。イタリア・ピエモンテ州ピネローロ市立劇場にてモーツァルト「レクイエム」のソリストを務める。その他、ベートーヴェン「第九」「ミサソレムニス」、ハイドン「天地創造」、などのソリストを務める。二期会会員。

青柳 いづみこ

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。平成元年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を両立させる希有な存在として注目を集め、これまでリリースした 15 枚の CD が「レコード芸術」特選盤となる他、師安川加壽子の評伝「翼のはえた指」で吉田秀和賞、祖父の評伝「青柳瑞穂の生涯」でエッセイストクラブ賞、「6 本指のゴルトベルク」で講談社エッセイ賞を受賞。近著に「ドビュッシー最後の 1 年」（中央公論新社）「音楽で生きていく！」（アルテス・パブリッシング）、CD に「ドビュッシーとパリの詩人たち」「6 人組誕生！」（ALM）など。日本演奏連盟・日本シヨパン協会理事、大阪音楽大学名誉教授、神戸女学院大学講師。http://ondine-i.net

沼沢 淑音

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て公益財団法人ロームミュージックファンデーションの奨学生としてエリソ・ヴィルサラーゼ氏のもと 2015 年にモスクワ音楽院を卒業。「素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました。」（アルゲリッチ氏）「音楽に普遍的なアプローチをする事ができる個性的で創造的なアーティスト」（ネルセシアン氏）と称賛される。ケルン国際コンクール第 3 位、シュニトケ国際コンクール、ポッツォーリ国際コンクールで優勝。現在桐朋学園非常勤講師。これまでに杉安礼子、故ウラジーミル・竹の内、辻井雅子、佐藤辰夫、広瀬康、野島稔、ミハイル・カンディンスキー、エリソ・ヴィルサラーゼの各氏に師事。

ジェラルド・プーレ

指揮者、ヴァイオリニストであったガストン・プーレの子息、父ガストンはドビュッシーのヴァイオリン・ソナタを作曲家自身のピアノで 1917 年に初演したことで知られる。11 歳でパリ国立音楽院に入学、2 年後に審査員全員一致の首席で卒業。18 歳でパガニーニ・コンクール優勝。巨匠ヘンリック・シェリングに師事。キャリアを世界中に広げ、ヨーロッパ、アジア、アメリカの各地で有名オーケストラと共演。名高い音楽フェスティバルや定期公演に出演している。偉大な教育者でもあり、パリ国立高等音楽院を退官後、パリ CNR 市立音楽院、エコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005 年から 2009 年に東京藝術大学の客員、招聘教授を務めた。現在は昭和音楽大学の教授を務める。81 歳を超えた現在も現役で、数多くのマスタークラス、主要な世界のコンクール、多数の音楽大学にも招かれている。生涯で 70 枚の CD（LP）をリリース。2019 年フランス芸術文化勲章コマンドゥールを叙勲される。日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活している。

川島 余里

東京藝術大学附属音楽高校、同大学作曲科卒業、同大学院修了。H. ピュイグ＝ロジェ氏の指導と影響で、1989 年渡仏。パリ国立地方音楽院でピアノ科とピアノ伴奏科のプルミエ・プリを取得して卒業。O. ギャルドン、G. ジョフ（デュティエユ夫人）に師事。ピティナ第 1 回特級 2 台ピアノ部門で優勝、イタリアのトラーニ国際ピアノコンクールでファイナリスト。2005 年吹田音楽コンクール作曲部門にて第 1 位を受賞。ソロ、室内楽とレパートリーは幅広く、オーケストラとも数回共演している。パリのロン・ティボー・コンクール等の公式伴奏者を務める。パリ国立高等音楽院を始め、5 校の音楽院で伴奏者の勤務を経て、2005 年に帰国。東京藝術大学で弦楽伴奏助手を務めた後、現在は同大学と昭和音楽大学で、ソルフェージュと室内楽の非常勤講師を務める。日本フォーレ協会会員。当協会創立 30 周年を記念した、協会の 8 人の作曲家によるピアノ作品集「フォーレ讃」の中の一曲を作曲している（2020 年 5 月に音楽之友社から出版）。